



# 日本海

日々の様子は学校  
ホームページから！

「藤塚小ブログ」は連日更新中！



## 『対面』でのつながりでしか学べない経験

校長 山田 耕世

「はい、解散」

「ありがとうございました！」

この姿は毎朝の校門での子どもたちの姿です。自分の登校班のメンバーが全員、校門に入ることを見届けた登校班長の子どもが「はい、解散」と告げ、登校班長以外のメンバーが登校班長にお礼の挨拶として「ありがとうございました！」と伝えるのです。

子どもたちは当たり前のように毎朝行っていますが、このような子どもたちの姿を通して考えることがあります。それは、どんなに親しい関係の友達に対しても、登校の際には交通事故に気を付けながら学校までメンバーをしっかりと連れて行く登校班長の責任感に溢れた姿と、登校班長の指示を素直に受け止めながら安全に登校しようとする緊張感のある姿の素晴らしさです。「キラリ」とした子どもたちの姿です。

「班のメンバーみんなで楽しめたよ！」

「班長さんが読んでくれた本、おもしろかったよ！」

この姿は、「なかよしタイム」「なかよし班読み聞かせ」の子どもたちの姿です。藤塚小学校では、お昼休み、定期的に、「なかよし班」といった異学年のメンバーによる班で遊んだり（「なかよしタイム」）、読み聞かせを行ったりしています（「なかよし班読み聞かせ」）。そして、活動の最後には、班のメンバーで振り返りを行います。その中でも、子どもたちの「キラリ」とした姿が光っています。



「なかよし班読み聞かせ」の様子

子どもたちの周りには、オンラインゲームやSNSなどのつながりがどんどん広がっています。しかし、下記のような『対面』でのつながりでしか学べない経験もたくさんあります。

- ★ 下学年の子どもたちを責任をもって安全にリードする経験
- ★ 班長・副班長の指示を素直に受け止める経験
- ★ 下学年の子どもたちが満足できる遊びや読み聞かせを行うなど、相手の気持ちに寄り添っていく経験
- ★ ルールを守りながら、決められた遊びなどをみんなで行う経験 など

子どもたちが生きるこれからの世の中は、ますます変化が激しく、先行き不透明な世の中と言われています。そのような世の中をたくましく生き抜いていくためには、**考えや思いが異なる相手（年齢に関係なく）とも、違いを認め合い、共に生きようとする力（「かかわる力」）が必要不可欠**です。『対面』でのつながりでしか学べない経験を大切にしながら、どの子どもも「かかわる力」を高めていけるように今後も努めていきたいと考えております。